

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

国が「食育基本法」を施行してから17年余が経過しました。以前は「食育」という言葉にあまり馴染みがありませんでしたが、現在では多くの方が理解を示し、食事や健康づくりへの関心が高まり、生活習慣病の予防や改善のため食生活や運動に気をつける人が増えてきています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症をはじめとする社会環境の変化により、食生活をめぐる環境が大きく変化している中で、栄養バランスの偏った食事や不規則な時間での食事の増加、肥満や生活習慣病（がん、心疾患など）の増加、食品ロスなどが問題になるとともに、食を取り巻く環境への関心も高まっています。

そのような中、国では、令和3（2021）年3月に「第4次食育推進基本計画」を策定し、千葉県でも、令和4（2022）年3月に「第4次千葉県食育推進計画」を策定し、『県民一人一人が主役となり、健康で笑顔あふれる暮らし』の実現を目指しています。

本市では、平成30（2018）年3月に「第2次成田市食育推進計画」を策定し、食育推進についての市民意識の高揚を図るとともに、市民一人一人が、自らの食について考える機会や、食に関する様々な知識と食を選択する力を身につけることができるよう取り組んできました。また、家庭や地域、学校、幼稚園、保育所、生産者団体、食品関連事業者、ボランティア等の様々な立場の関係者と連携・協力を図ることで、食育活動を推進してきました。

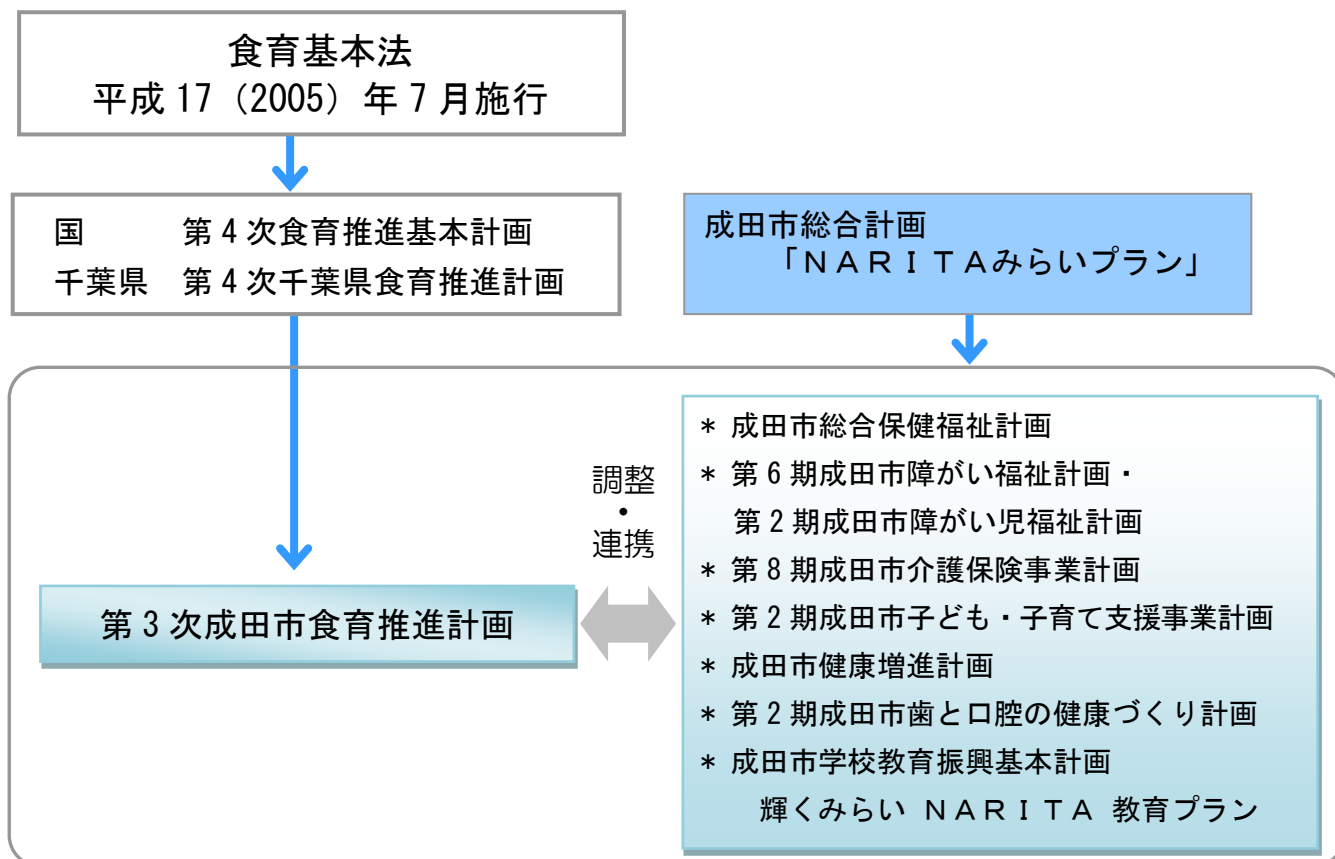
第3次の計画策定にあたっては、第2次の食育推進計画の基本理念を継承した中で、十分な成果が得られなかった目標及び各課題への引き続いての対応や、新たな取り組みを盛り込むことで、本市の特性を活かし、市民一人一人が主役となった食育を推進します。

★食育とは・・・

食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの。様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

2 計画の位置付け

本計画は、平成 17 (2005) 年 7 月に施行された食育基本法第 18 条「市町村食育推進計画」の規定に基づく計画として位置付け、千葉県食育推進計画や市の各種計画との整合性を図るものとします。



3 計画期間

本計画の期間は、令和 5 (2023) 年度から令和 9 (2027) 年度までの 5 年間とします。
なお、計画期間中に社会情勢の変化などが生じた場合には、必要に応じて見直すこととします。

令和 3 (2021)年	令和 4 (2022)年	令和 5 (2023)年	令和 6 (2024)年	令和 7 (2025)年	令和 8 (2026)年	令和 9 (2027)年
(国) 第 4 次食育推進基本計画						
	(県) 第 4 次千葉県食育推進計画					
		(市) 第 3 次成田市食育推進計画				

4 前計画の達成状況

(1) 指標の達成状況

前計画については、成果や達成度を指標により把握できるよう 18 項目の数値目標を設定しています。今回実施したアンケート調査の結果を受けての、数値目標の達成状況は次のとおりです。

基本目標 1 市民への食育の普及

指標	対象	策定時 (H28)	目標値 (R4)	現状値 (R4)	国・県現状値 (R元またはR2)	評価
食育に関心を持っている人の割合	20歳以上	74.4%	90%以上	78.4%	国 83.2% 県 68.1%	△
食育を実践している人の割合	20歳以上	52.8%	60%以上	56.0%	-	△

食育への関心度及び実践している人の割合については高まっていますが、目標値を達成できていない状況です。食育への関心が、適正な食生活への実践に結びつくことから、引き続き食育の普及・啓発に努めていく必要があります。

基本目標 2 健全な食生活で、元気なからだと心を育む

指標	対象	策定時 (H28)	目標値 (R4)	現状値 (R4)	国・県現状値 (R元またはR2)	評価
「食事バランスガイド」等の食生活上の指針を参考にしている人の割合	20歳以上	48.1%	60%以上	47.9%	-	●
1日2回以上栄養バランスのとれた食事を心がけている人の割合	20歳以上	72.2%	80%以上	66.9%	-	●
朝食を欠食する人の割合	小学5年生	3.2%	0%を目指す	3.7%	国 4.6%※1 県 3.1%	●
	中学2年生	5.7%	0%を目指す	4.6%	国 6.9%※2 県 5.1%	△
	20歳代男性	26.1%	13%以下	9.7%	国 21.5% 県 22.5%	○
	20歳代女性	19.5%	9%以下	24.4%		●
	30歳代男性	16.7%	8%以下	13.5%		△
	30歳代女性	7.0%	3%以下	8.0%		●
週1回も家族や友人と食事をしていない人の割合	20歳以上	7.1%	5%以下	11.8%	-	●
	60歳代	8.1%	5%以下	11.6%	-	●

国における現状値・・・※1 小学6年生、※2 中学校3年生のデータ

「食事バランスガイド」等の食生活上の指針を参考にしている人、1日2回以上栄養バランスのとれた食事を心がけている人の割合は減少しており、目標値を達成できていない状況となります。また、朝食の欠食については、20歳代の男性で目標値を達成できている一方、その他の対象区分については、目標値を達成できていない状況となっています。なお、中学2年生、30歳代の男性では、欠食率が低下しており改善傾向にあることから、達成できていない対象区分も含め、学校での取り組みや若い世代への欠食の対応を引き続き行う必要があります。

基本目標3 安全・安心な食の環境づくり

指標	対象	策定時 (H28)	目標値 (R4)	現状値 (R4)	国・県現状値 (R元またはR2)	評価
食品を購入する際、栄養成分表示を参考にしている人の割合	20歳以上男性	47.6%	60%以上	47.3%	-	●
	20歳以上女性	58.4%	70%以上	58.4%		●
食べ残しなどを減らす努力をしている人の割合	20歳以上	54.1%	70%以上	51.2%	-	●

20歳以上の食品を購入する際、栄養成分表示を参考にしている人、食べ残しなどを減らす努力をしている人の割合は減少しており、目標値を達成できていない状況となります。食品を購入する際、栄養成分表示を参考にしている人の割合を増加させることで、健康的な食生活の実現に寄与することから、引き続き取り組みを推進していきます。また、食べ残しなどを減らす努力をしている人の割合を増加させることで、SDGsの推進にも寄与することから、食の大切さを伝えていけるよう取り組みを推進します。

基本目標4 地域の食文化の魅力発信

指標	対象	策定時 (H28)	目標値 (R4)	現状値 (R4)	国・県現状値 (R元またはR2)	評価
成田市の地場産物の認知度	小学5年生 中学2年生	49.2%	80%以上	77.8%	-	△
	20歳以上	41.8%	70%以上	62.7%	-	△
成田市の郷土料理の認知度	20歳以上	15.7%	30%以上	15.0%	-	●

本市の地場産物の認知度は、全対象区分で認知度が上昇しています。一方、郷土料理の認知度については減少しており、地場産物や郷土料理を多くの人に知ってもらうことができるよう、引き続き普及に努めていく必要があります。

○・・・達成できた項目

△・・・目標は達成していないものの改善している項目

●・・・未達成の項目